

# 女子差別撤廃条約(CDEAW) 質問事項(LoI)作業委員会 現地ロビーイング報告



◀ 藤原久美子氏  
(DPI女性障害者  
ネットワーク、DPI  
日本会議常任理事)  
レマン湖前、パレ・  
ウィルソン近くで

2015年08月17日 @JDF条約推進委員会  
DPI日本会議 浜島恭子 hamashima@dpi-japan.org

# 本報告の概要

- 7月、ジュネーブでのCEDAW作業委員会にDPI女性障害者ネットワークからロビーイング派遣
- 初の試み、登録方法や発言枠の交渉等、事前に把握できない点が多々あった
- 本報告の目的：今後のCRPD日本審査に向け、現地で得た情報を中心に共有化する

# 用語集 定訳（英文）

## 通称、略称

- **女子差別撤廃条約**（女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約）（**CEDAW** : Convention on the Elimination of all Forms of Discrimination against Women）：**シーダウ**
- **障害者権利条約**（**CRPD**）
- **事前質問事項**（**LOIs**:List of Issues）：**質問票、リスト・オブ・イシュー**
- **市民社会からの情報**（Info from Civil Society Organizations (for LOIs)）→**NGOレポート**

# ロビーイングに至る経過

- DPI女性障害者ネットワーク日本女性差別撤廃条約NGOネットワーク(JNNC)を通じて前回2009年に女性差別撤廃委員会にレポートを提出
- 2014年9月 日本政府が女性差別撤廃条約に関する第7・8次政府報告を提出
- 2015年2月 ロビーイングへの参加寄付による資金調達を決定
- 2014年6月 女性差別撤廃条約NGOネットワーク(JNNC)の一員としてレポート提出
- 2015年6月「障害女性を国連のロビーイングの場へ送り出そう！」キャンペーン、2カ月足らずで目標額の80万円を集めた

# NGO現地打合せ（JNNC:日本女性差別撤廃条約NGOネットワーク）

- NGOヒアリングでの発言は質問票のポイントを反映、各項目の最重要点を抽出



◀ ジュネーブ、コルナヴァン駅 付近のホテルロビーでJNNC関係NGO打ち合わせ

# 国連パレ・ナシオン入口でNGO(市民社会)入場証(a ground pass)取得



▶小松泰介さん(反差別国際運動IMADR  
ジュネーブ事務所 国連アド  
ヴォカシー担当)

# 作業委員会の会場



- 扉に「プライベートミーティング」の張り紙、「NGOの方は入場ください」と呼ばれるまで外で待たされる
- NGOヒアリングが終わったら速やかに部屋を出ていくよう言われる

※作業委員会はクローズド、撮影・録音は禁止

# DPI女性障害者ネットワークの主張

1. DV防止法の下で「他の者との平等」を実現しなければならない。
2. 障害分野におけるジェンダー統計の不在が、政策の無策とも関連している。
3. 旧優生保護法に基づく被害について、政府は人権侵害を認め、調査と補償をすべきである



# Ms. Jahan 作業委員会議長と面談



# Dalia Leinarte 作業委員 (CDAW副委員長)と面談



# IDA(国際障害同盟) ジュネーブ事務所訪問



# IDA Tchaurea (UPR担当)の助言

- 各条約体の文脈、用語を使って、権利委員にわかるような問題提起を行うこと  
(例: CEDAW委員には「中絶」は禁句、田舎・地方の視点を入れる、「合理的配慮」は通じないなど)
- 権利委員の特徴を捉え、彼らの関心にそった情報提供を行って的確な質問をしてもらうこと  
(例: CEDAWならフィンランドの委員には雇用、ガーナの委員には障害など)
- 2019年頃のCRPD日本審査への布石としてUPR (人権理事会普遍的・定期的レビュー)を活用すべき→ **2017年4月**

# 特別報告者の活用についての助言

- 障害団体・障害者の社会・政治参加における意思決定について、障害団体あるいは国からの情報提供を募集中(9月15日締切)  
→日本の問題も出せるチャンス
- 国別訪問(カントリー・ビジット)でのアジア公式訪問の際(来年か再来年くらい)、日本に寄ることも可能

# まとめ：現地で学んだこと

- 作業委員会の日程は非公開、自国の日程がわかるのは直前→ギリギリまで待って、自国日程の前に現地入り、ロビーイングが効果的
- NGOヒアリングでの発言枠は交渉・資料の充実・状況によって変わり得る
- 入場証トラブルは日常茶飯事、現地コンタクトは必須
- 条約体ごとの文脈・用語、スケジュールを踏まえて効果的にロビーイングを

## 感謝とご報告

みなさまのカンパをいただき、DPI女性障害者ネットワークは1名の障害女性と1名のサポート兼通訳を ジュネーブの女性差別撤廃委員会 日本審査の準備会へおくることができました。来年2016年2月が、本委員会です。来年2月にはより多くの障害女性当事者がロビー活動に参加できることを望んでおります。引き続き、みなさまのご協力ご支援いただきますよう、おねがいいたします。ありがとうございました。

DPI女性障害者ネットワーク運営委員会  
2015年7月29日

# 参考資料等

DPI女性障害者ネットワーク（※『障害のある女性の生活の困難 複合差別実態調査報告書』概要他、日・英文資料あり）

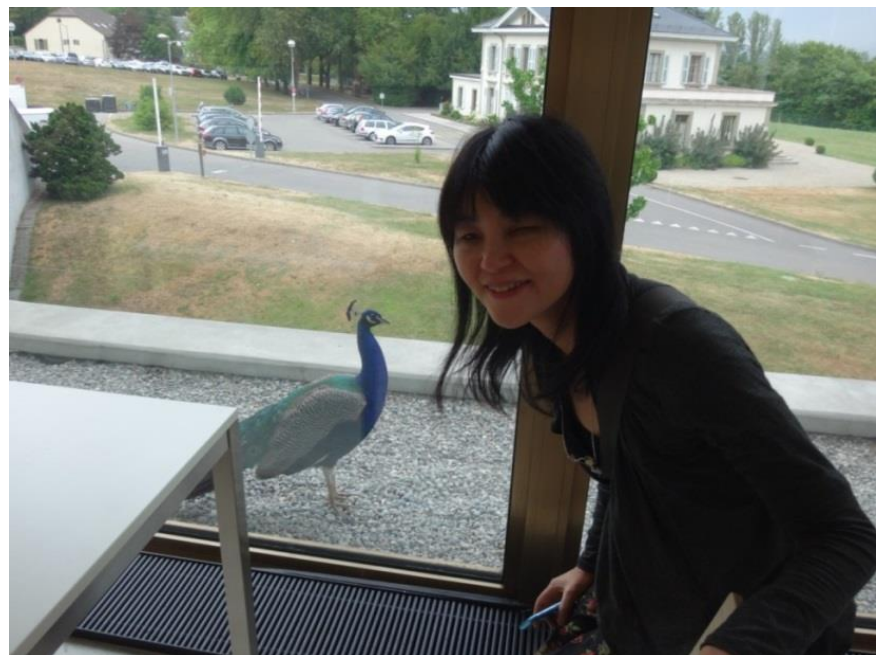
<http://dpiwomennet.choumusubi.com/>

DPI日本会議われら自身の声 31-2  
「今こそ考えよう 障害女性の参画」

林陽子編 2011『女子差別撤廃条約  
と私たち』信山社

日本女性差別撤廃条約NGO  
ネットワーク（JNNC）

<http://www.jaiwr.org/jnnc/index.htm>



来年2月CEDAW本審査に向けて、引き続きご支援をよろしく申し上げます  
（藤原さん、パレ・ナシオンで飼われている孔雀と）